

RETAS! PRO REVOLUTIONARY ENGINEERING  
TOTAL ANIMATION SYSTEM

## STYLOS HD *User Guide*

STYLOS HD Ver.2.1.0 差分マニュアル



### STYLOS HD NEW GENERATION VECTOR ANIME TOOL

RETAS! PRO is a graphic software which brings epoch-making progress for the animation fields  
having been in analog technique so far into the digital realm.  
Various functions and easy operation tools bring you the highest quality and efficiency that respond to professionals' strict demands.  
Using this software, you can express your own imagination world just easily.  
RETAS! PRO is the professional standard software for creation of animation project.

## Step: 本書の使い方

## 01

ここでは、「STYLOS HD」 Ver.2.1.0 差分マニュアルについて説明します。

 本書の使い方

この差分マニュアルでは、「STYLOS HD」の Ver.2.0.2～2.1.0 で強化・改良された機能を、ソフトウェアに同梱したマニュアルと同じ章立てで紹介しております。そのため、ユーザーは今までのマニュアルに追補する形で、新機能の情報がわかります。(2 章、5 章、10 章、11 章に関しましては、新機能などがいないために欠番となっております)

また、第 3 章に関しましては、従来の「クイックガイド」に代わり、今回大幅な機能強化を行った [ファイルプレビューワー] について紹介しています。

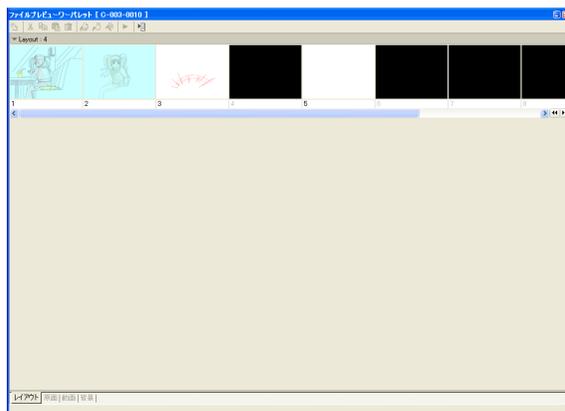
Step: **01** ファイルプレビューワー

ここでは、機能強化された[ファイルプレビューワー]の機能について紹介します。

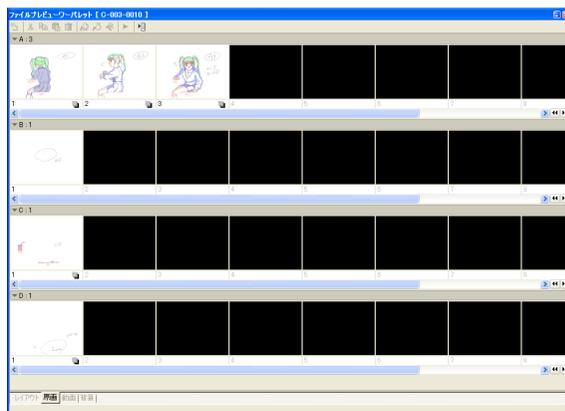
## 新しい[ファイルプレビューワー]とは

「STYLOS HD」 Ver.2.1.0 では、同じレイヤー内の連番画像をサムネイルで確認することしかできなかった[ファイルプレビューワー]を、大幅に機能強化しました。

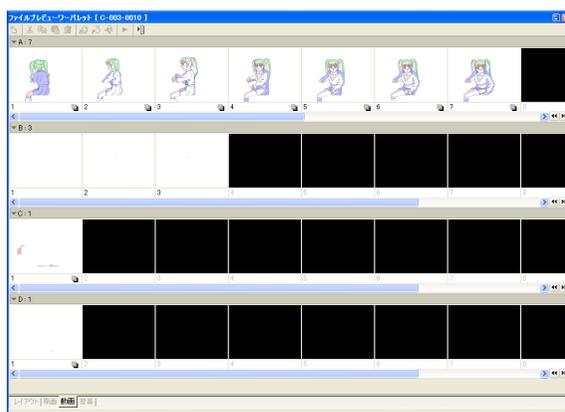
新しい[ファイルプレビューワー]の主な機能としては、[ファイルブラウザ]でカットフォルダを選択した時に表示される[画像]タブのパレット化や、[ライトテーブルに登録]や[モーションチェック]といった機能を直接実行できます。また、ウィンドウ左下のタブを選択することで、作画カットフォルダの中から[レイアウト][原画][動画][背景]のいずれかを表示できます。



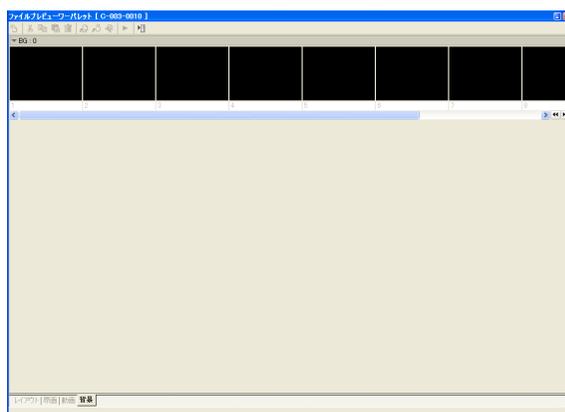
[レイアウト]



[原画]



[動画]



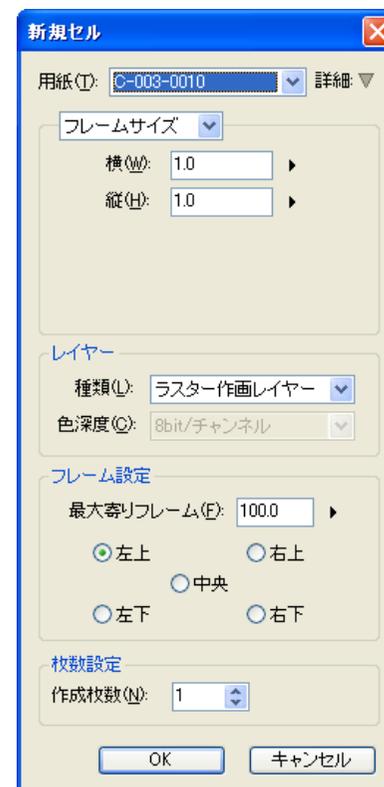
[背景]

## 新しい[ファイルプレビューワー]の機能一覧

[ファイルプレビューワー]の機能は、以下のとおりです。



① [セルを新規作成]  
新規にセル（作画用紙）を作成します。セルの設定は[新規セル]ダイアログで行います。



② [カット]  
[ファイルプレビューワー]上で選択されているセルを削除し、クリップボードに保存します。

③ [コピー]  
[ファイルプレビューワー]上で選択されているセルをコピーし、クリップボードに保存します。

④ [ペースト]  
クリップボードに保存したセルを、[ファイルプレビューワー]上で選択されている位置に複製します。

⑤ [削除]  
[ファイルプレビューワー]上で選択されているセルを削除します。

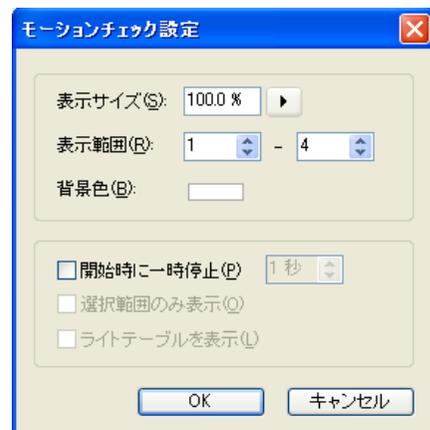
⑥ [登録]  
[ファイルプレビューワー]上で選択されている位置に画像ファイルを読み込みます。

⑦ [ライトテーブルに登録]  
[ファイルプレビューワー]上で選択されているセルを[ライトテーブル]に登録します。

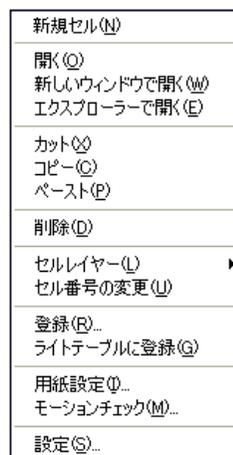
- 8 [用紙設定]  
選択しているセルの用紙設定を変更します。



- 9 [モーションチェック]  
選択しているレイヤーのモーションチェック (タイムシートを使用しない、[表示]メニューの[モーションチェック])を行います。[モーションチェック設定]ダイアログで、[表示サイズ]などを変更できます。



- 10 [メニューを表示]  
メニューを表示します。



Step: **タイムシート**  
01

ここでは、タイムシート関連の新機能について説明します。

## ▶ 「CoreRETAS」の形式で保存する

「STYLOS HD」の作画用タイムシートを、「CoreRETAS HD」の撮影用タイムシート形式で別名保存します。

## 別名で保存する

タイムシートを別名で保存します。



- ① 「STYLOS HD」用の作画タイムシート (\*.sxf) が開いている状態で、[ファイル] メニューから [別名で保存 ...] を選択します。保存先をカットフォルダ内に指定します。



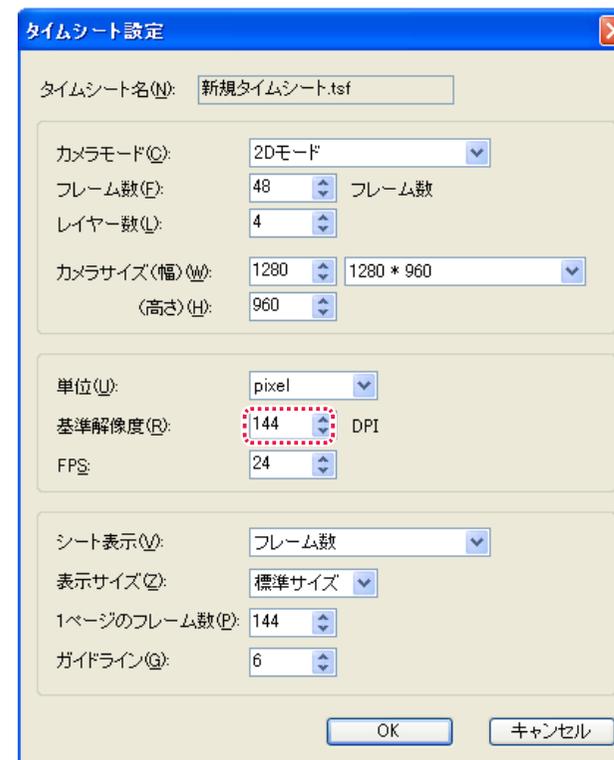
- ② [ファイル名] を入力します。
- ③ [ファイルの種類] で、[撮影用タイムシート] を指定します。
- ④ [保存] ボタンを押します。

## ▶ [タイムシート]の仕様変更

「STYLOS HD」 Ver.2.0.2 ~ 2.1.0 における、タイムシート関係での仕様変更は以下のとおりです。

## 「CoreRETAS HD」用タイムシートの基準解像度

カットフォルダを書き出す場合、「CoreRETAS HD」用タイムシートの基準解像度は、作画用カットフォルダの設定が適用されます。



## 空欄+ [Enter] キーで、データセルの内容をクリアする

[タイムシート] ウィンドウの入力フィールドが空欄の状態 [Enter] キーを押すと、データセルに入力されている内容をクリアします。これは入力フィールドに [ 0 ] を入力した時と同じ動作です。

Step: ファイルブラウザ  
02

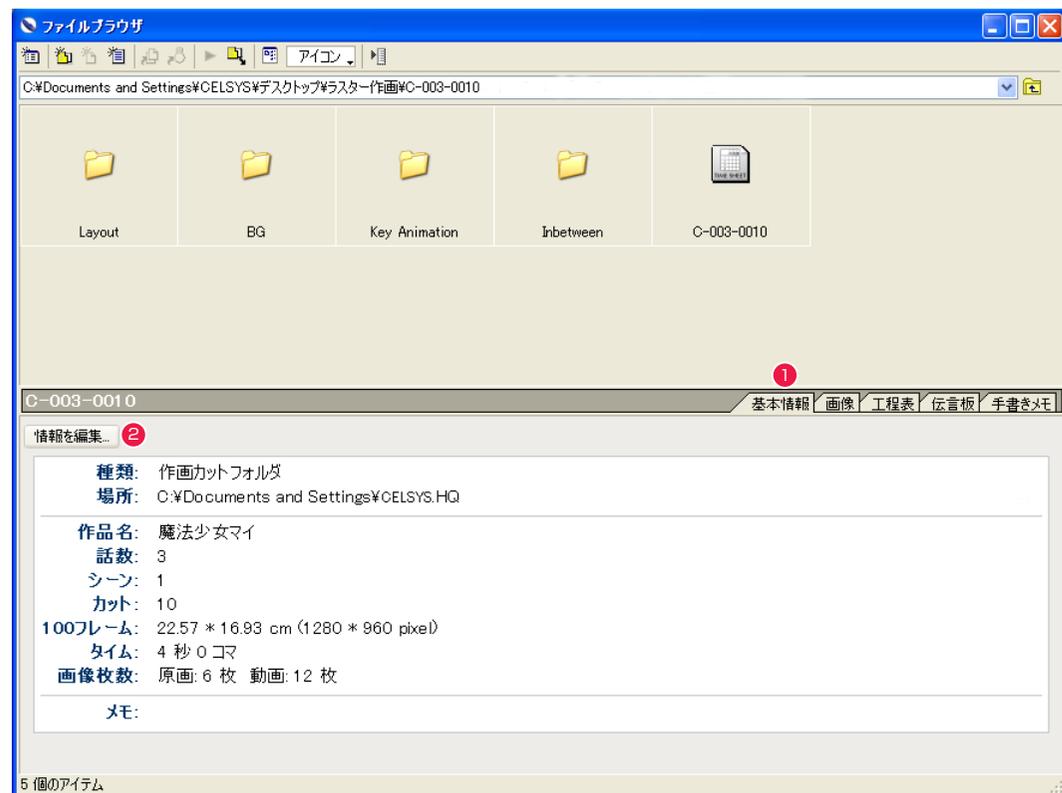
ここでは、[ファイルブラウザ]関連の新機能について説明します。

## ▶ 100 フレームの基準サイズを変更する

作画カットフォルダの基本情報を編集し、カット内で使用する 100 フレームの大きさを変更します。

## 1. [カット情報の編集] ダイアログを表示する

[ファイルブラウザ]ウィンドウの情報ビューで[基本情報]タブを選択し、[カット情報の編集]ダイアログを表示します。

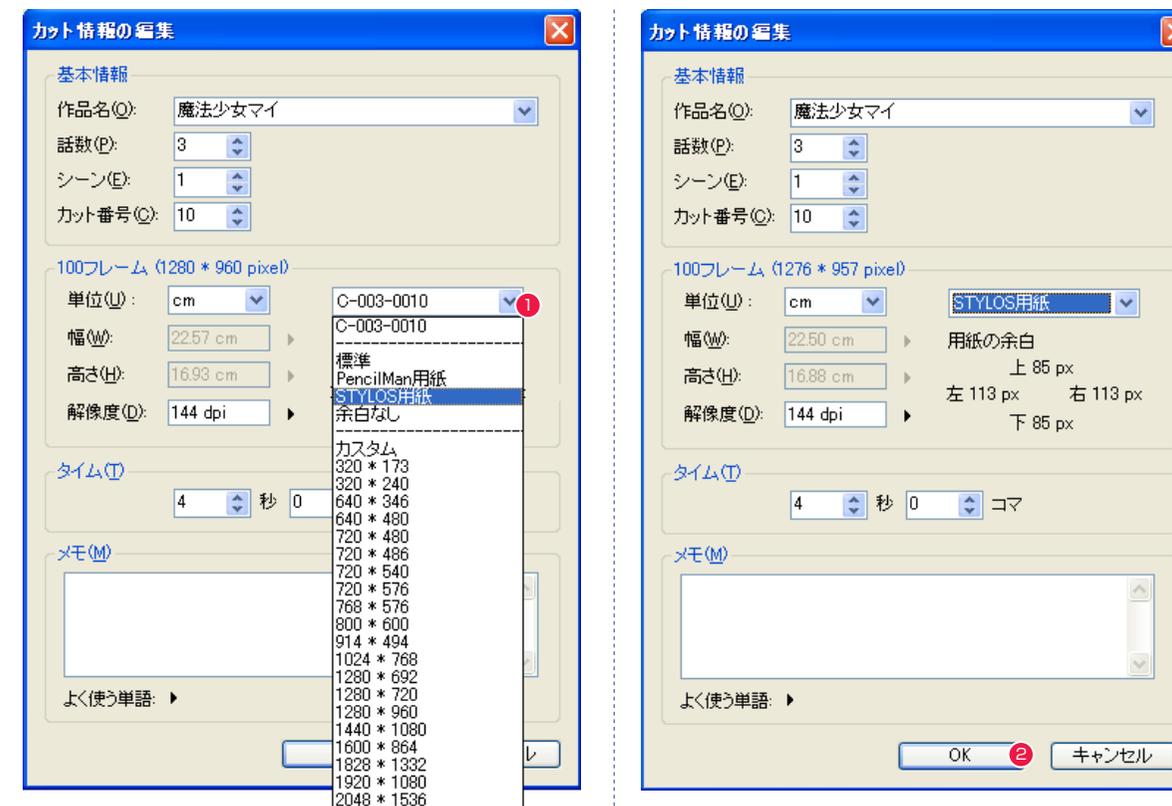


① [ファイルブラウザ]ウィンドウで、[基本情報]タブを選択します。

② [情報を編集...]ボタンを押します。

## 2.100 フレームの大きさを設定する

[カット情報の編集]ダイアログで、使用したい 100 フレームの大きさを選択します。



① [カット情報の編集]ダイアログが表示されますので、フレームサイズの設定項目からプルダウンメニューで、希望の大きさを選択します。

② [OK]ボタンを押して、設定を完了します。

## POINT

プルダウンメニューで 100 フレームの大きさを選択する際に、メニュー項目の先頭に、カット名と同じ名称の項目があります。(例では「C-003-0010」)

この項目を選択すると、カットフォルダに設定された用紙の大きさが選択されます。

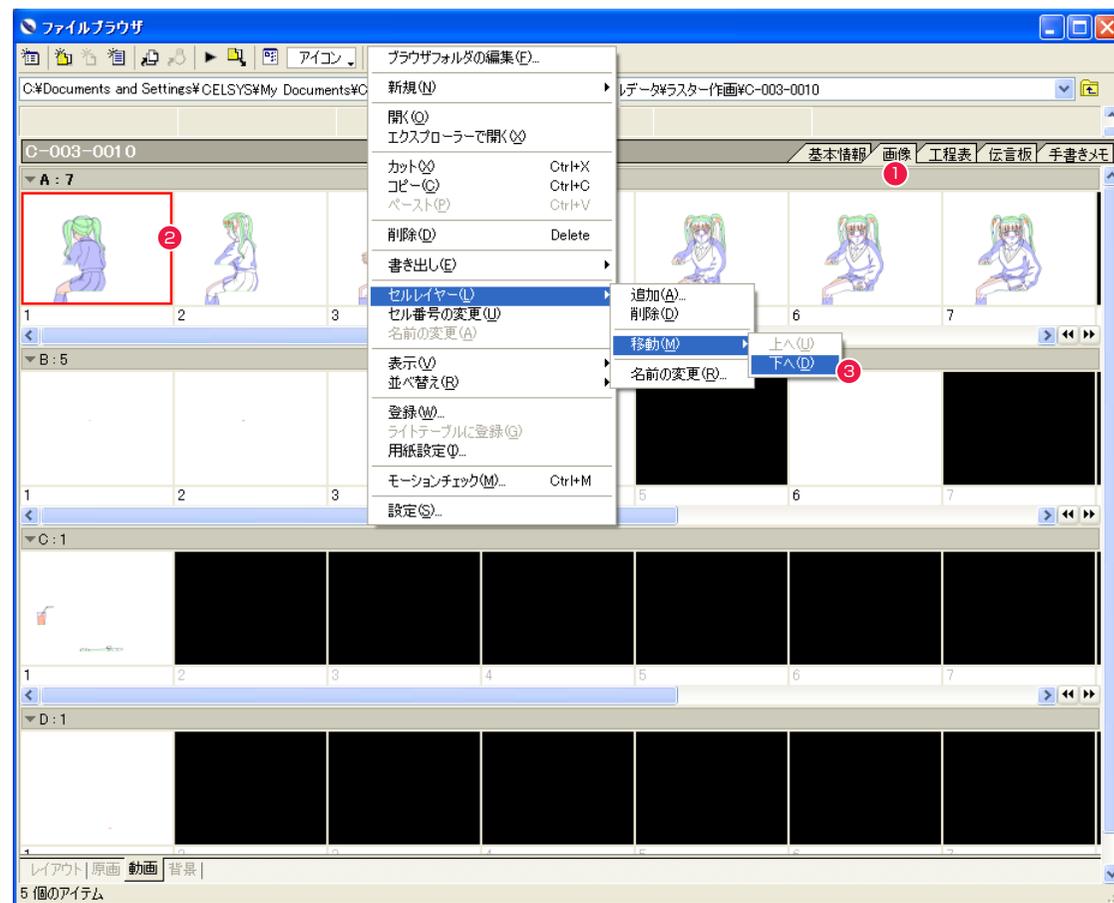
カットフォルダに設定された用紙の大きさは、[カット情報の編集]ダイアログで確認・変更できます。

## レイヤーの表示順を変更する

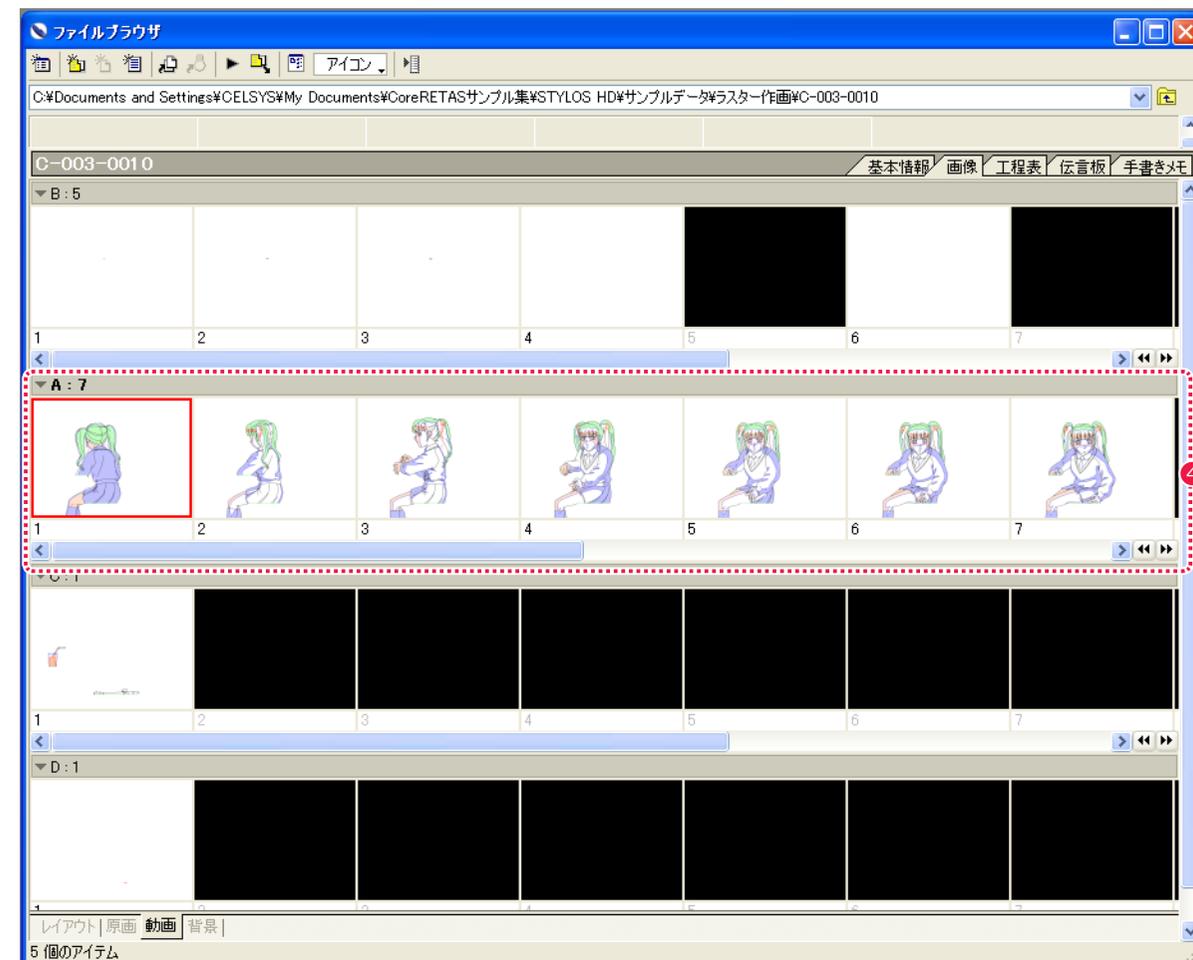
[ファイルブラウザ] ウィンドウの [画像] タブから、レイヤーの表示順を変更します。

### 1. 画像のレイヤー順を変更する

[ファイルブラウザ] ウィンドウで [画像] タブを選択し、レイヤーの表示順を変更します。



- ① 「ファイルブラウザ」ウィンドウで、[画像] タブを選択します。
- ② 作業用カットフォルダから、レイヤーの表示順を変更したいレイヤーのセルを、ひとつ選択します。
- ③ [メニュー表示] から [セルレイヤー] → [移動] を選択して、レイヤーの移動方向は [下へ] を選択します (上へ移動させたい場合は [上へ])。



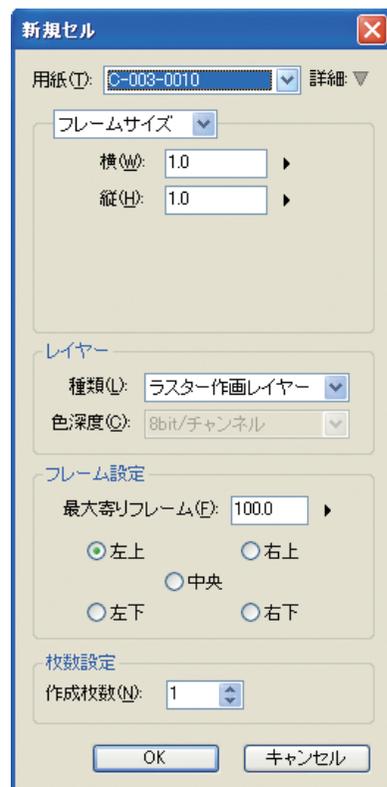
- ④ [ファイルブラウザ] 上でのレイヤーの表示位置が変更され、[A レイヤー] が [B レイヤー] の下に表示されるようになりました。

## ▶▶ [ファイルブラウザ]の機能追加

「STYLOS HD」 Ver.2.0.2～2.1.0における、[ファイルブラウザ]の仕様変更は以下のとおりです。

### セル作成時の枚数設定

[ファイルブラウザ]ウィンドウで新規にセルを作成する際、[新規セル]ダイアログで作成するセルの枚数を指定できるようになりました。



Step: セル  
01

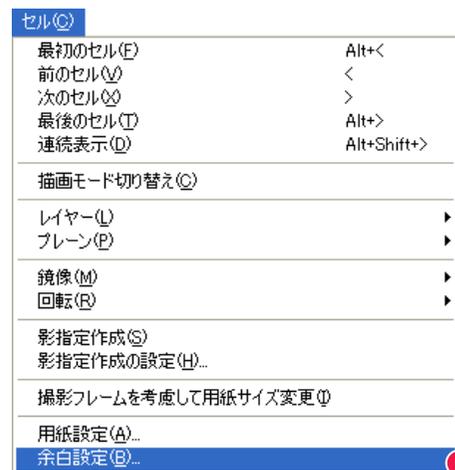
ここでは、[セル] 関連の新機能について説明します。

## セルの余白を変更する

[セル] メニューから [余白の設定 ...] を選択すると、セルの余白を変更できます。

### 1. [余白設定] ダイアログを表示する

[余白設定 ...] を選択し、[余白設定] ダイアログを表示します。



① [セル] メニューから [余白設定 ...] を選択し、[余白設定] ダイアログを表示します。

### 2. 余白を設定する

[余白設定] ダイアログに数値を入力します



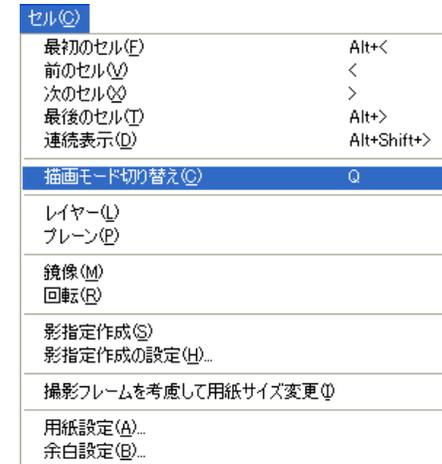
① 表示されたダイアログで [単位] を指定します。

② [用紙の余白] に数値を入力します。

③ [OK] ボタンを押すと、入力した余白が設定されます。

## [作画レイヤー] と [影指定レイヤー] を切り替える

[影指定レイヤー] が存在している場合、[セル] メニューから [描画モード切り替え] を選択すると、編集対象が [作画レイヤー] と [影指定レイヤー] のいずれかに切り替わります。



① [セル] メニューから [描画モード切り替え] を選択します。

② [作画レイヤー] が選択されていれば [影指定レイヤー] に、[影指定レイヤー] が選択されていれば [作画レイヤー] に切り替わり、編集対象となります。

## ▶ [セル] の仕様変更

「STYLOS HD」 Ver.2.0.2 ～ 2.1.0 における、[セル] の仕様変更は以下のとおりです。

### [影指定を作成] の変更

[セル] メニューの [影指定を作成] を、[影指定作成] と [影指定作成の設定] に分割しました。

#### [影指定作成]

画像に [影指定レイヤー] が存在しない場合は、新規に [影指定レイヤー] を追加すると同時に、[ベクター / ラスター作画レイヤー] の画像から塗り分けのための境界線を作成し、[影指定プレーン] に登録します。

画像に [影指定レイヤー] が存在する場合は、[ベクター / ラスター作画レイヤー] の画像から塗り分けのための境界線を作成し、[影指定プレーン] の内容を更新します。

#### [影指定作成の設定]

[影指定作成] コマンドを使用する際の設定を行います。

##### ・色の濃度

[影指定レイヤー] の濃度を 0 ～ 100 のパーセントで指定します。

##### ・線をつなぐ

オンにすると、[ベクター / ラスター作画レイヤー] の画像から塗り分けのための境界線を作成する際に、線と線の間でここで設定した値よりも狭い隙間をつないで塗り分けのための境界線が作成されます。

##### ・ラスタライズレイヤーも描画

オンにすると、[影指定レイヤー] に塗り分けのための境界線を作成する際に、[ベクター / ラスター作画レイヤー] だけでなく [ラスタライズレイヤー] も対象に含めます。

Step: レイヤー  
01

ここでは、レイヤー関連の新機能について説明します。

## ▶ 色深度を選択する

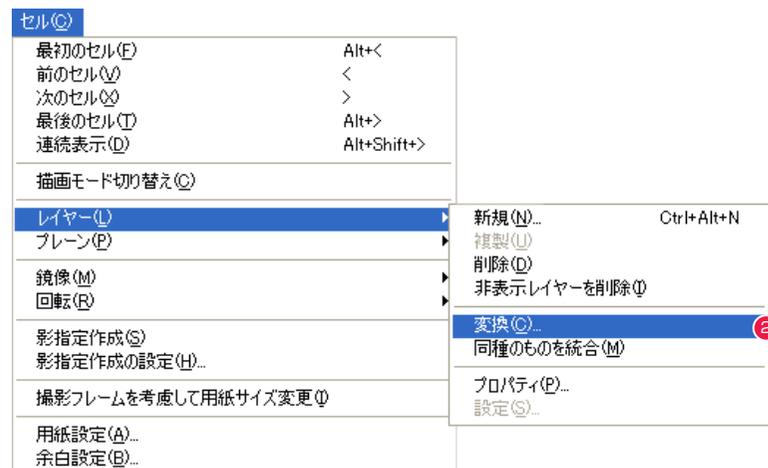
[レイヤー変換] ダイアログで、変換先に [ラスター汎用] を指定した場合、色深度 (8bit チャンネル / 16bit チャンネル) を選択します。

## 1. [レイヤー変換] ダイアログを表示する

[セル] メニューから [変換 ...] を選択し、[レイヤーの変換] ダイアログを表示します。



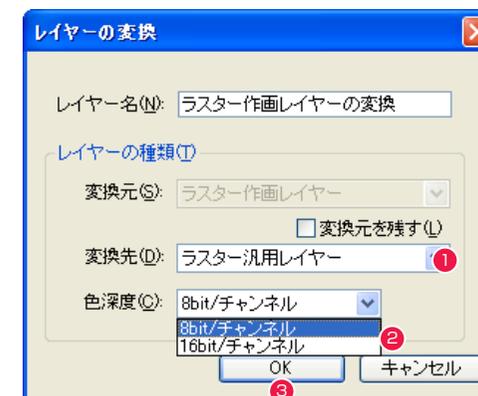
① 変換したいレイヤーを、[レイヤー] パレット上で選択します。



② [セル] メニューから [レイヤー] → [変換 ...] を選択し、[レイヤーの変換] ダイアログを表示します。

## 2. [色深度] を選択する

[レイヤーの変換] ダイアログで、[色深度] を選択します。



① [変換先] で [ラスター汎用レイヤー] を選択します。

② [色深度] で [8bit / チャンネル] か [16bit / チャンネル] を選択します。

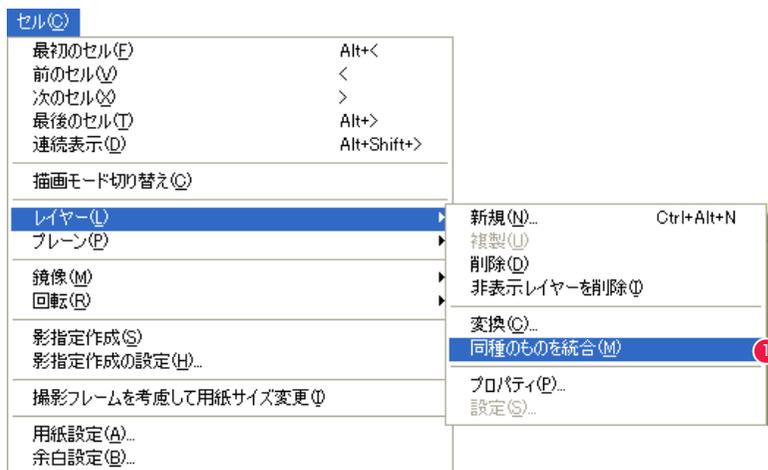
③ [OK] ボタンを押し、レイヤーの変換を完了します。

## ▶ 同種のレイヤーを統合する

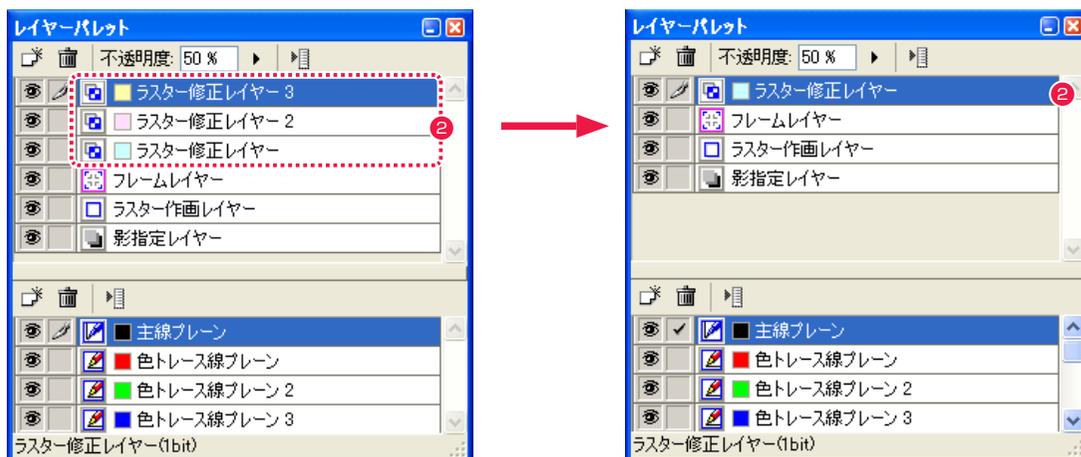
同じ種類のレイヤーがある場合、1つのレイヤーに統合します。

### [同種のを統合]を選択する

[セル]メニューから、[同種のを統合]を選択します。



① [セル]メニューから、[レイヤー]→[同種のを統合]を選択します。



② 同じ種類のレイヤーが統合され、1つになりました。

## ▶ [レイヤー]の仕様変更

「STYLOS HD」Ver.2.0.2～2.1.0における、[レイヤー]の仕様変更は以下のとおりです。

### フローティング状態のプレーン表示色を修正

従来は、作画レイヤー内で色の異なるプレーンに貼り付けを行った場合、貼り付けたプレーンの色は元の色のままでしたが、貼り付け先プレーンと同じ色で表示するよう変更されました。

Step: プレーン  
01

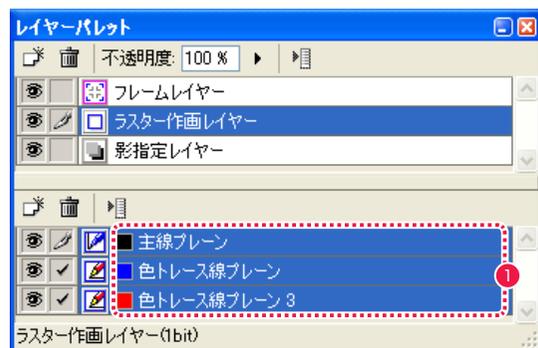
ここでは、プレーン関連の新機能について説明します。

## ▶ 複数のプレーンを1つのプレーンに変換する

複数のプレーンを選択し、1つのプレーンに統合して変換します。

### 1. プレーンを選択する

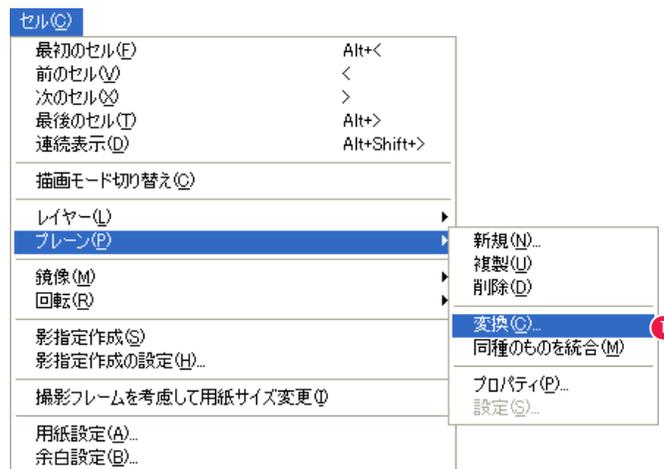
[レイヤー]パレットで変換したいプレーンを選択します。



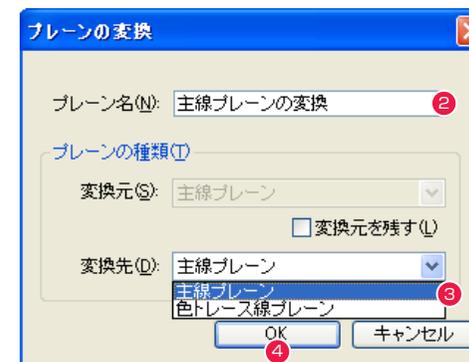
① [レイヤー]パレットで、変換したいプレーンにチェックを入れて選択します。

### 2. プレーンを変換する

[プレーンの変換]ダイアログを表示し、プレーンの変換を設定します。



① [セル]メニューから、[プレーン]→[変換...]を選択します。



② [プレーンの変換]ダイアログで、[プレーン名]を入力します。

③ [プレーンの変換]ダイアログで、[変換先]を選択します。

④ [OK]ボタンを押し、設定を完了します。



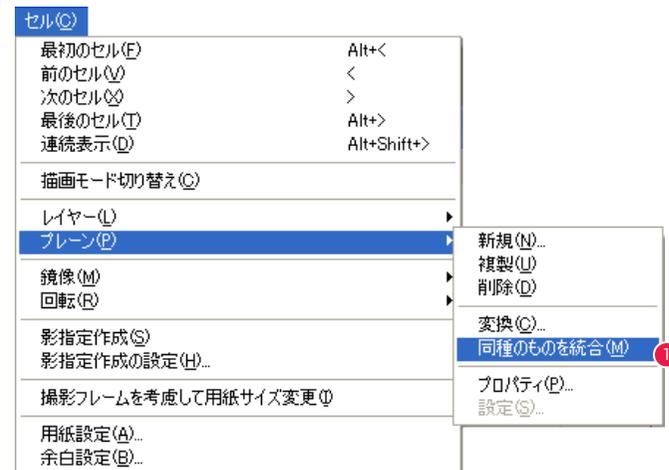
⑤ 選択したプレーンが変換され、1つになりました。

## ▶ 同種のプレーンを統合する

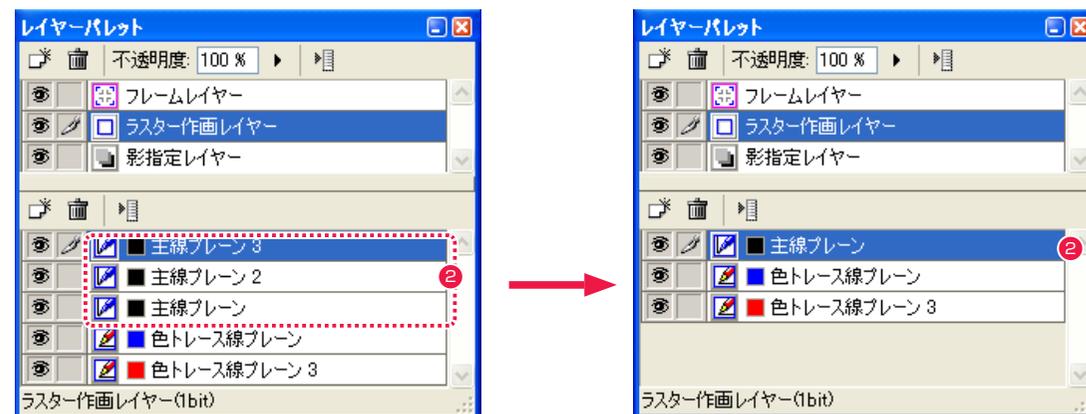
同じ種類のプレーンがある場合、1つのプレーンに統合します。ただし、プレーンの色が異なる場合は、統合できません。

### [同種のを統合]を選択する

[セル]メニューから、[同種のを統合]を選択します。



① [セル]メニューから、[プレーン]→[同種のを統合]を選択します。



② 同じ種類のプレーンが統合され、1つになりました。

Step: ツールパレット  
01

ここでは、ツールパレットの新機能について紹介します。

## ▶ [ツール]パレットの追加機能

「STYLOS HD」 Ver.2.0.2 ~ 2.1.0における、「ツール」パレットの追加機能は以下のとおりです。



- ① [描画モード切り替え]  
[影指定レイヤー]が存在している場合、アイコンをクリックすることに編集の対象が[作画レイヤー]と[影指定レイヤー]に、交互に切り替わります。また[作画レイヤー]が選択されている場合は[影指定レイヤー]が、[影指定レイヤー]が選択されている場合は[作画レイヤー]が、編集対象となります。

- ② [影指定作成]  
[影指定レイヤー]が作成され、[作画レイヤー]の線画を元に[影指定レイヤー]に塗り分け用の境界線が作られます。

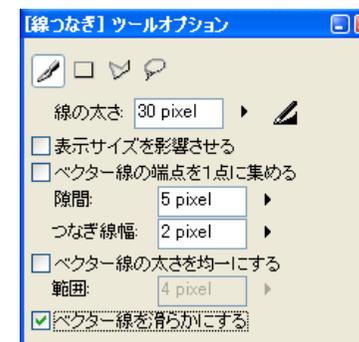
- ③ [コマンドメニュー]  
[影指定作成][影指定作成の設定][影指定色を初期化]を選択できます。  
[影指定作成]では[影指定作成の設定]ダイアログで設定した影指定を作成します。  
[影指定作成の設定]では[影指定作成の設定]ダイアログで影指定の詳細を設定します。  
[影指定色を初期化]では、[影指定レイヤー]編集中に[ツール]パレットで表示される色ボタンを、デフォルト色に戻します。

影指定作成(S)  
影指定作成の設定(H)...  
影指定色を初期化(R)

- ④ [虫眼鏡] ツール  
[虫眼鏡]ツールのオプションに[ドラッグで拡大]を追加しました。このチェックボックスをオフにすると、クリック一回につき一段階拡大されます。また、[ドラッグで拡大]の[スナップ]オプションをオンにすると、選択した拡大範囲をずらすと、拡大率がきりのよい数値で設定されるため、拡大・縮小した線が綺麗に表示されます。



- ⑤ [線つなぎ] ツール  
[線つなぎ]ツールのオプションに、[ベクター線を滑らかにする]を追加しました。このチェックボックスをオンにすると、線をつないでも鋭角になりません。



元画像

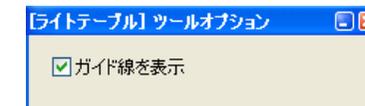


[ベクター線を滑らかにする] オフ

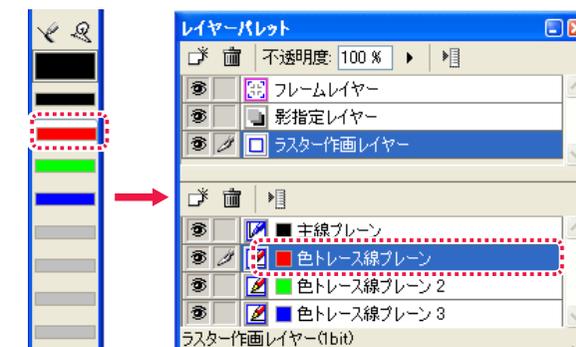


[ベクター線を滑らかにする] オン

- ⑥ [ライトテーブル] ツール  
[ライトテーブル]ツールのオプションに、[ガイド線を表示]を追加しました。このチェックボックスをオンにすると、画像にガイド線が表示されます。



- ⑦ [プレーン選択] ボタン  
[プレーン選択] ボタンを追加しました。[プレーン選択] ボタンと[レイヤー]パレットの「プレーン」が連動します。例えば、[プレーン選択] ボタン[赤]をクリックすると、[レイヤー]パレットで[色トレース線プレーン]の[赤]を編集対象に選択した場合と同じ動作になります。



## [ ツール ] パレットの仕様変更

[STYLOS HD] Ver.2.0.2 ~ 2.1.0 における、[ ツール ] パレットの仕様変更は以下のとおりです。

### [ 入り ][ 抜き ] のショートカット設定

[ ペン ][ 直線 ][ 曲線 ] ツールを選択しているとき、[F1] キーを押すと [ 入り ]、[F2] キーを押すと [ 抜き ] の [ オン ][ オフ ] を切り替えることができます。また、ショートカットの編集機能を使用して、[ 入り ] と [ 抜き ] の [ オン ][ オフ ] を自由に割り当てられます。

### [ 隙間を閉じる ] のショートカット追加

[ フィル ] ツールの [ 隙間を閉じる ] オプションを、[F1] キーを押すことで [ オン ][ オフ ] を切り替えることができます。また、ショートカットの編集機能を使用して、[ 隙間を閉じる ] の [ オン ][ オフ ] を自由に割り当てられます。

### [ 線つなぎ ] ツールへの変更ショートカット追加

[ 直線 ][ 曲線 ] ツール使用時に [Alt/Opt] キーを押している間は、[ 線つなぎ ] ツールになります。

### 点の描画

[ ペン ][ 直線 ][ 曲線 ] ツールで一カ所をクリックすると、点を描画できます。

### [ 虫眼鏡 ] ツールダブルクリック時の処理を変更

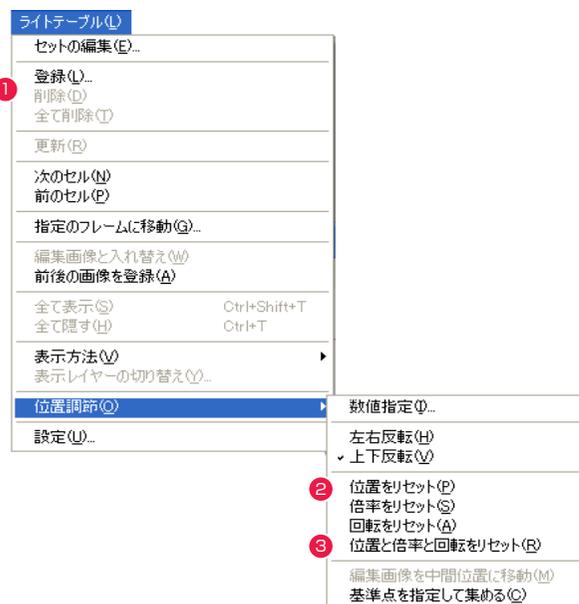
[ 虫眼鏡 ] ツールでダブルクリックした場合の処理が、[ 全体表示 ] から [ 等倍表示 ] に変更されました。

Step: ライトテーブル  
01

ここでは、[ライトテーブル]の新機能について紹介します。

## ▶ [ライトテーブル]メニューの新機能

「STYLOS HD」 Ver.2.0.2～2.1.0における、[ライトテーブル]メニューの新機能は以下のとおりです。



- ① [全て削除] コマンドを追加  
[ライトテーブルセット]の画像を全て削除します。
- ② [位置をリセット] コマンドを追加  
[ライトテーブル]で選択している画像の位置をリセットします。
- ③ [位置と倍率と回転をリセット] コマンドを追加  
[ライトテーブル]パレットにある[位置と倍率と回転をリセット]ボタンと同じコマンドを、[ライトテーブル]メニューに追加しました。

## ▶ [ライトテーブル]パレットの新機能

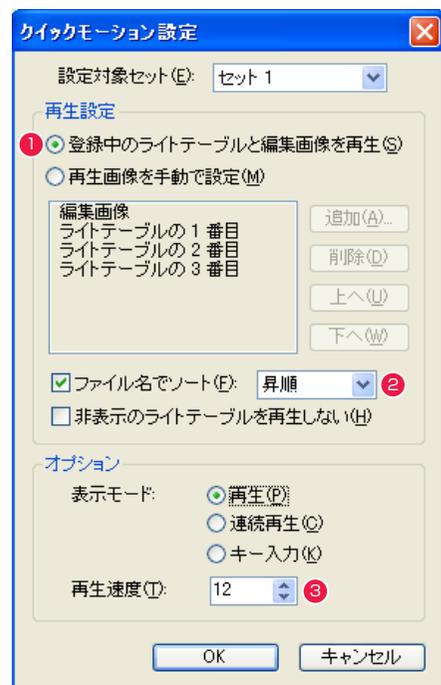
「STYLOS HD」 Ver.2.0.2～2.1.0における、[ライトテーブル]パレットの新機能は以下のとおりです。



- ① [全て削除] コマンドを追加  
[ライトテーブルセット]の画像を全て削除します。
- ② [編集中の画像と入れ替え] ボタンを追加  
現在編集中の画像と、[ライトテーブル]パレットで選択されている画像を入れ替えます。
- ③ [ライトテーブル] ツールボタンを追加  
[ツール]パレットにある[ライトテーブル]ボタンを、[ライトテーブル]パレットにも追加しました。

## ▶ [クイックモーション]の仕様変更

「STYLOS HD」 Ver.2.0.2 ～ 2.1.0 における、[クイックモーション]の仕様変更は以下のとおりです。



- ① [ライトテーブル]に登録されている画像と編集画像を、登録順に再生する機能を追加  
[登録中のライトテーブルと編集画像を再生]オプションで、ライトテーブルに登録されている画像と編集画像を、ライトテーブルへの登録順に再生する機能を追加しました。
- ② ファイル名の昇順・降順で再生する機能を追加  
[ファイル名でソート]オプションで、ファイル名の昇順・降順で再生する機能を追加しました。
- ③ [登録中のライトテーブルと編集画像を再生]  
クイックモーションの再生速度を、2FPS～30FPSまで設定可能にしました。

**Step:** バッチ  
**01**

ここでは [ バッチ ] 関連の新機能について説明します。

 **[ バッチ ] の仕様変更**

「STYLOS HD」 Ver.2.0.2 ~ 2.1.0 における、[ バッチ ] の仕様変更は以下のとおりです。

**● [ 余白変更 ] バッチ項目の追加**

バッチ項目に [ 余白変更 ] が追加されました。セルの余白の変更を、バッチ処理で行うことができます。

## Step: 影指定

## 01

ここでは、[影指定] 関連の新機能について説明します。

 [影指定レイヤー] の仕様変更

「STYLOS HD」 Ver.2.0.2 ~ 2.1.0 における、[影指定レイヤー] の仕様変更は以下のとおりです。

---

**レイヤーパレットで [影指定レイヤー] を作成時に境界線を生成する**

レイヤーパレットで [影指定レイヤー] を新規作成した場合、現在の線画を元に影指定レイヤーに塗り分け用の境界線が作成されます。

---

**[フィル] ツールで彩色済みの色を削除する**

[影指定レイヤー] で [フィル] ツールを使用する場合、描画色と同じ色の箇所をクリックすると透明になります。

## Step: 編集

## 01

ここでは、編集関連コマンドについて説明します。

 [編集] の新機能と仕様変更

「STYLOS HD」 Ver.2.0.2 ~ 2.1.0 で仕様変更された [編集] 関連のコマンドは以下のとおりです。

---

**[取り消し] コマンド**

[取り消し] コマンドは、直前の作業のみを取り消します。一度コマンドを実行した場合、[やり直し] コマンドにスイッチし、他の作業を行わない限り [やり直し] コマンドはアクティブになりません。

---

**[やり直し] コマンド**

[やり直し] コマンドは直前に実行された [取り消し] コマンドをキャンセルします。一度コマンドを実行した場合、[取り消し] コマンドにスイッチし、他の作業を行わない限り [やり直し] コマンドはアクティブになりません。

---

**[1 段階戻る] コマンド**

前バージョンで [取り消し] コマンドだったものを、[1 段階戻る] コマンドに変更しました。現在の [取り消し] コマンドと異なり、このコマンドを選択した回数だけ、作業を前の段階まで元に戻せます。

---

**[1 段階進む] コマンド**

前バージョンで [やり直し] コマンドだったものを、[1 段階進む] コマンドに変更しました。現在の [やり直し] コマンドと異なり、このコマンドを選択した回数だけ、取り消した作業をキャンセルできます。

Step: 出力  
01

ここでは、出力関連の新機能について説明します。

## ▶ [モーションチェック] をムービー形式で書き出す

[モーションチェック] の動画を、ムービー形式で書き出します。

### 1. [モーションチェック書き出し] ダイアログを表示する

[モーションチェック書き出し] ダイアログを表示して、[モーションチェック] の動画をムービー形式で書き出します。



① [タイムシート] メニューから [モーションチェック] → [書き出し...] を選択し、[モーションチェック書き出し] ダイアログを表示します。

### 2. ファイル形式を設定する

[モーションチェック書き出し] ダイアログで、出力したい動画形式を選択します。形式は「AVI (Windows のみ)」「Flash Movie」「QuickTime Movie」の 3 種類から選べます。



① [ファイルタイプ] から、出力したい動画形式を選択します。

② [書き出し] ボタンを押します。

③ [保存先の指定] ダイアログで、保存先を決めて保存します。

## ▶ [出力] の仕様変更

「STYLOS HD」Ver.2.0.2 ~ 2.1.0 における、[出力] の仕様変更は以下のとおりです。

### [PNG] 形式で [16 ビットチャンネルで保存] オプションを追加

[別名で保存] を使用して [PNG] 形式で画像を保存する場合、[設定...] ボタンで [16 ビットチャンネルで保存] オプションを選択できます。

### [白背景を合成] オプションを追加

保存や書き出しのダイアログに [白背景を合成] オプションを追加しました。オンの場合、セル重ねの一番下に白い無地の背景 (白背景) を合成します。オフの場合は、セル重ねの一番下に白背景の様な背景を合成することはありません。

## Step: 環境設定

## 01

ここでは、環境設定関連の新機能について説明します。

## ▶ [ 環境設定 ] の仕様変更

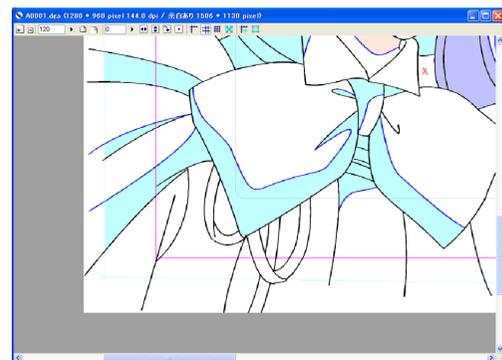
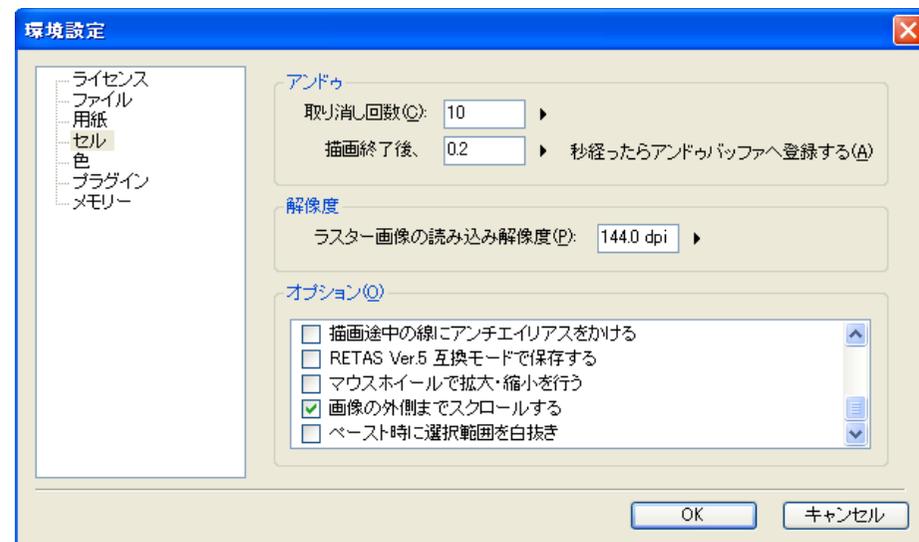
「STYLOS HD」 Ver.2.0.2 ~ 2.1.0 における、[ 環境設定 ] の仕様変更は以下のとおりです。

### [ ペースト時に選択範囲を白抜き ] オプションを追加

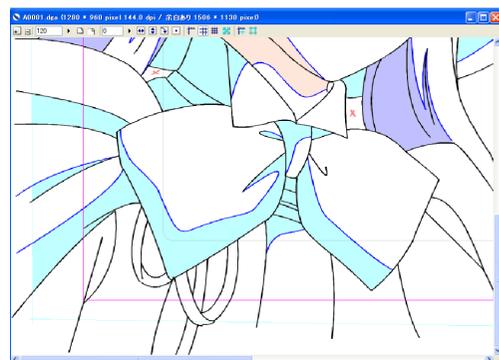
[ 環境設定 ] ダイアログの [ セル ] で [ ペースト時に選択範囲を白抜き ] チェックボックスをオンにすると、[ セル ] の選択範囲に含まれる白 (RGB=255.255.255) のピクセルを、透明扱いでペーストできます。

### [ 画像の外側までスクロールする ] オプションを追加

[ 環境設定 ] ダイアログの [ セル ] で [ 画像の外側までスクロールする ] チェックボックスをオフにすると、画像を拡大表示した際に、画像の端より先にスクロールしなくなります。



[ 画像の外側までスクロールする ] オン



[ 画像の外側までスクロールする ] オフ

●「RETAS!PRO」シリーズに関するお問い合わせは、下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

(お問い合わせ窓口)  
株式会社セルシス  
ソフトウェア営業部  
〒151-0053  
東京都渋谷区代々木 4-27-25  
フジビル 25  
TEL : 03-5304-0855  
e-mail : info@celsys.co.jp

●落丁・乱丁本は、お取替えいたします。お手数ですがお問い合わせ窓口までご連絡ください。

---

●本書（データである場合も含む）は、法律の定めのある場合または権利者の承諾のある場合を除き、いかなる方法においても複製・複写することはできません。

●本書（データである場合も含む）は、2007年2月現在の製品プログラムをもとに執筆編集されており、実際の製品プログラムの仕様と異なっている場合があります。

●CELSYS、RETAS!PRO、STYLOSは、株式会社セルシスの商標または登録商標です。

●その他、記載されております会社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。

●画像素材：「Anime Data collection」 ©高田明美（TAKADA Akemi/C&R社）

---

**STYLOS HD Ver.2.1.0 User Guide**  
Copyright © 2007 CELSYS, Inc. All Rights Reserved.



CELSYS Home Page  
<http://www.celsys.co.jp/>

2007年4月	第二版発行
発行者・発行所	株式会社セルシス 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 4-27-25 フジビル 25
制作	株式会社セルシス